

(3) 羽黒地域

羽黒地域は、出羽三山とその門前町、ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン※
で高い評価を得た羽黒山杉並木や国宝羽黒山五重塔、史跡松ヶ岡開墾場など、歴史的
価値の高い観光資源に恵まれた地域です。

2つの日本遺産がある地域として魅力と価値を高め、少子高齢化や人口減少が進行
する中でも、地域資源を活用して、活力にあふれる地域づくりを進めていきます。

観光面では、羽黒地域の歴史文化を広く発信し、国内のみならず、海外から訪れる
観光客にも羽黒らしい自然や歴史、精神文化に触れる空間を提供できる観光づくりに
取り組みます。

農業面では、耕畜連携による土づくりを推進し、農林作物の付加価値を高めます。
また、地域特産物の販売方法の検討を進め、魅力ある農業の発展を支える人材育成や
確保に取り組みます。

地域づくりでは、住民が安心して暮らすことができるように、住民主体の活動を支
援するとともに、防災や地域交通対策などの地域課題の解決に向けて行政と地域が連
携して取り組みます。

また、自然にふれあい、歴史・伝統文化の学びを通して郷土愛を育み、次世代を担
う人づくりに取り組みます。

※ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン

フランスのタイヤメーカー、ミシュランが発行する旅行ガイドで、多くの
国々の旅行者たちが、日本各地の魅力を体験できるような情報を掲載して
いる。

ア 人を惹きつけ魅力あふれる観光の推進

○施策の方向

手向門前町の修景整備や出羽三山精進料理の魅力発信など、門前町としての魅力向
上のための取組を推進します。

また、史跡松ヶ岡開墾場については、蚕室などの歴史や魅力を発信する拠点として
の保存や活用の整備を進めるとともに、松ヶ岡地域への支援を継続します。

このほか、インバウンドなどに対応するため、老朽化した既存観光施設の再整備や、
周辺環境整備にも取り組みます。

今後は多言語対応の観光案内や二次交通の検討を行うとともに、映画を活用した誘
客や観光施設の連携によって、通過型から周遊・滞在型の観光地への転換を目指し
ます。

○主な施策

- ① 手向門前町の歴史的まちなみの整備推進、固有の食文化である出羽三山の精進料理の魅力発信、歴史的文化的価値の高い羽黒山杉並木の保全・継承など、地域資源を有効活用するための活動への支援を行い、交流人口の拡大を図ります。
- ② 鶴岡市歴史的維持風致向上計画などに基づき史跡内建造物の保全などを図るとともに、2014（平成26年）年3月に松ヶ岡地域が策定した「松ヶ岡地域振興ビジョン」の達成状況を検証し、地域が主体的に取り組む事業を支援します。また、インバウンドなどに対応するため観光案内などの多言語対応の充実を図ります。
- ③ 中山間地域の広大な土地を活用した映画ロケ施設が観光誘客資源となっており、演者やスタッフの宿泊や飲食などに伴う経済効果が見込まれることから、映画ロケ誘致や映画を活用した誘客事業に対して支援を行います。
- ④ 庄内平野を一望できる地勢を有効活用し、自然環境を中心とした観光スポットとしての認知度を向上させ、羽黒地域の豊かな自然と歴史的・文化的資源を結ぶモデルコースを紹介し、周遊・滞在型の観光による地域経済の活性化を図ります。

イ 地域の特色を生かし価値を高める農業の推進

○施策の方向

羽黒地域の特産物である庄内柿などの園芸作物をはじめ、気候や風土に適した収益性の高い農林作物の生産体制の確立、新品種導入や新たな栽培技術の導入等を支援するとともに、耕畜連携による付加価値の高い農業生産を目指します。

また、生産を支える多様な働き手の確保や、新たな販売方法の検討、地域農業の発展を支える人材育成に取り組みます。

○主な施策

- ① 地域の特産であるブルーベリーやさくらんぼ、産地交付金の対象となる重点品目の生産拡大とともに、それを支える多様な農業人材の育成に取り組みます。
- ② 気候や風土を生かした作物の生産振興と、鶴岡市羽黒高品質堆肥製造施設を活用した土づくりを推進します。
- ③ 月山麓畑作団地を中心とした農福連携と当該団地における輪作体系を推進するとともに、観光客と生産者の交流を伴う農観が連携した農作物販売を検討します。

ウ 活力ある地域づくりを担う地域コミュニティの推進

○施策の方向

これまで防災、福祉その他の地域課題に対して、自治振興会と連携し、取組を進めてきました。今後はこうした取組に加え、次世代を担う人づくりに向け、地域内の豊かな自然や地域の歴史文化を伝える学習機会を提供し、郷土愛の醸成を図ります。

また、住民活動の拠点施設である地域活動センターの計画的な整備、修繕などを図り、子育て世代や高齢者のほか、全ての世代が利用しやすい施設整備の検討に取り組みます。

近年、地域住民が抱える課題が複雑化・多様化する中で、従来の縦割りによる支援体制ではニーズへの対応が困難になってきていることから、地域や一人ひとりの多様性を前提とした、地域住民の多様な課題に寄り添う仕組みづくりを進めます。

高齢者などの交通弱者に対しては、買い物や通院時に利用する交通手段の確保と充実に取り組みます。

○主な施策

- ① 自治振興会を中心とした地域運営への支援を行うとともに、地域活動や防災の拠点となる地域活動センター施設整備の検討を行います。
- ② 地域の歴史・文化・伝統のほか自然や産業などを学ぶ機会を創出し、ふるさとのよさを伝え、地域文化の伝承と郷土愛の醸成を図ります。
- ③ 地域、社会福祉協議会羽黒福祉センター、地域包括支援センターはぐろ、羽黒子育て支援センターが連携し、身近な地域で支えあう仕組みづくりを推進します。
- ④ 路線バスの廃止に伴い、交通弱者の交通手段を確保するために、現在運行している市営路線バスのより利用しやすい運行方法を住民とともに検討し、さらなる利便性の向上と利用者の拡大を図ります。